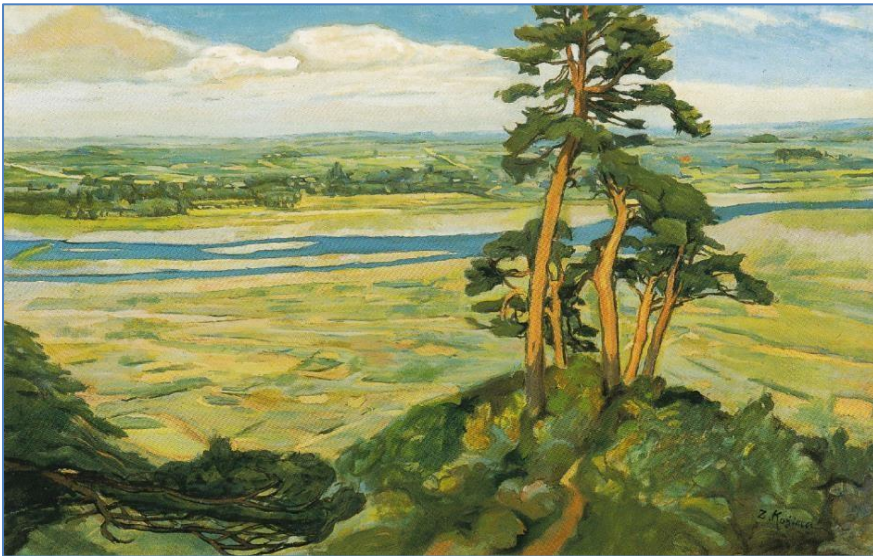


「信玄を討ち留めざる事無念千万に存じ候」

～滝山城主北条氏照の人と合戦～

東国有数の戦国大名・小田原城主北条氏康の三男として誕生した氏照は、関東管領山内上杉氏の重臣で、武蔵守護代の系譜をひく地域領主大石氏のもとに、養子として送り込まれました。大石氏を継いだ氏照は、滝山城主として北条氏の関東制覇の野望実現のため、その生涯を戦いに明け暮れました。なかでも永禄12年（1569年）9月、甲斐の戦国大名で名将として名高い武田信玄と滝山城で攻防戦を繰り広げたことは特筆されます。

今年は、この滝山城攻防戦から450年目の節目の年にあたります。そこで今回は、氏照の大石領継承から北条氏の北関東侵攻の中心となって活躍する氏照の生涯をたどり、その人物像と合戦の実相について迫っていただき、お話していただきます。



小島善太郎 滝山展望（滝山城趾より多摩川を望む）1955 八王子市夢美術館蔵

左の絵画の川向うに濃い緑が帯状に横たわっているのが拝島の集落、その一番右端が拝島大師で、武田信玄が滝山合戦の本陣を置いたと伝わる場所です。



- ・日 時 令和 元年11月 4日（月・祝）13時30分～16時（受付は13時から）
- ・講 師 加藤 ^{あきら} 哲 さん（八王子市文化財保護審議会・副会長、戦国史研究会・評議員）
- ・会 場 八王子市加住市民センター・多目的室（八王子市加住町1-338）
- ・ア ク セ ス 京王八王子駅の4番バス乗り場、または、JR八王子駅北口の12番バス乗り場から西東京バスの「戸吹行き（ひよどり山トンネル経由）などに乗車して、「滝山城址下」で下車し徒歩3分。 ※駐車場はありますが、なるべく公共交通機関等をご利用ください。
- ・受 講 料 500円（資料代） ・定 員 100名（当日先着順）

主 催	NPO法人 滝山城跡群・自然と歴史を守る会 〒192-0003 八王子市丹木町2-196-4 電 話 090-4700-6854（尾熊） ホムカゴ よみがえる滝山城 http://takiyamajo.com ブログ http://blog.goo.ne.jp/npotakiyamajou
後 援	八王子市教育委員会（文化財課）、八王子市（観光課）、滝山城跡文化協会、東京都立滝山公園指定管理者（西武・多摩部の公園パートナーズ）、公益社団法人八王子観光コンベンション協会
協 力	小島敦子（小島善太郎 次女）、八王子市夢美術館